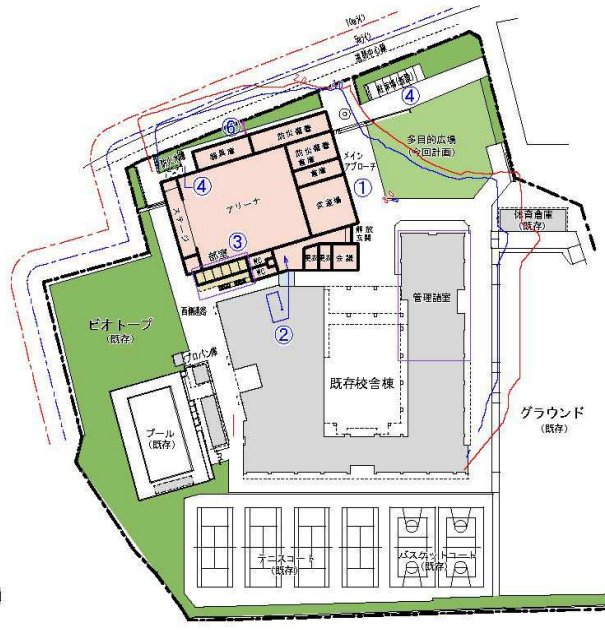
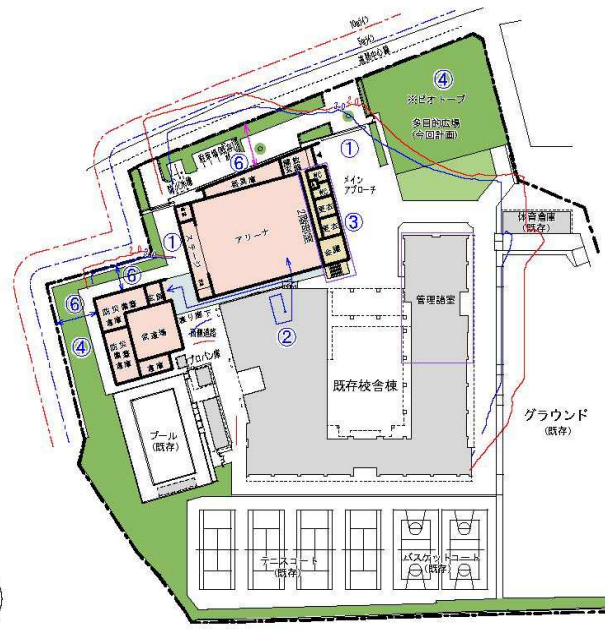
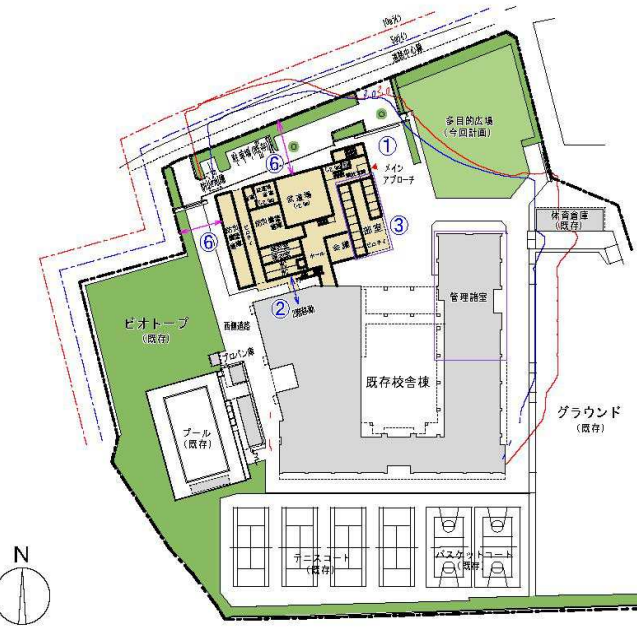


【配置計画比較表】

	A 案 (平屋建て・集中配置型)	B 案 (平屋建て・分散配置型)	C 案 (2階建て・集中配置型)
計画概要	既存前庭(芝生広場)と北側駐車場の範囲に平屋建て(一部2階)で、1棟にまとめて配置した案。	既存前庭(芝生広場)に屋内運動場棟、既存ビオトープに武道場棟+防災倉庫を配置した案。	既存前庭(芝生広場)に全ての施設を配置した重層案。1階に武道場、防災倉庫、部室、付属施設を配置し、2階に屋内運動場関係施設を配置。
配置計画案	 <p>＜断面イメージ＞</p>	 <p>＜断面イメージ＞</p>	 <p>＜断面イメージ＞</p>
学校運営	<p>①動線(アプローチ) ①建築面積が大きくなるため、メインアプローチが狭くなる。</p> <p>②動線(内部) ②教室(2・3階)から1階まで降りて移動。</p> <p>③部室の管理 ③部室がグラウンドから遠く、管理諸室からも見通せない。</p> <p>④外構整備 ④外構整備範囲が広く、防火水槽や門扉などの再整備が必要</p>	<p>①メインアプローチは広いが、西側通路の歩車分離が難しい。</p> <p>②1階まで降りて利用。別棟の武道場へは、上下足が明確ではない。</p> <p>③メインアプローチに部室が面するため、管理しやすい。</p> <p>④ビオトープの再整備が必要。</p>	<p>①建築面積が小さいため、メインアプローチが広くとれる。</p> <p>②2階の屋内運動場へは、校舎2階から直接移動可能。</p> <p>③メインアプローチに部室が面するため、管理しやすい。</p> <p>④既存外構と同じ配置が可能。</p>
近隣への影響	<p>⑤建物高さ ⑤平屋のため建物高さを抑えた計画が可能。</p> <p>⑥距離(近隣・道路) ⑥北側道路の近くまで建物が配置されるため、圧迫感がある。</p>	<p>⑤平屋のため建物高さを抑えた計画が可能。</p> <p>⑥ビオトープ(既存)に武道場を建設すると、西側住宅に対して騒音や夜間照明に配慮が必要。</p>	<p>⑤2階建てのため、建物高さが既存校舎の最高高さ程度となる。</p> <p>⑥隣地から建物までの距離を離して配置できる。建物は高いが北側道路沿いの樹木は維持可能なため圧迫感は緩和される。</p>
関係者意見	<p>□学校関係者(先生、PTA)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒数が多いため、メインアプローチが狭くなるのは問題。 ・部室が管理諸室から見えない配置は管理上問題がある。 ・現在の芝生広場から張り出すと圧迫感が出るのではないか。 ・前面道路幅も広くないため、駐車場及び通路は残した方がよい。 <p>□地域の方々(自治会連合会、自治会、近隣の方々)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コストが低く抑えられ、使い勝手はよさそうだが、メインアプローチが狭くなるのは問題がある。 ・建物が北側道路付近まで近づくため、部活や一般開放時(休日や夜間使用)の音が気になる。 	<p>□学校関係者(先生、PTA)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武道場の環境(採光・通風・換気など)が良くない。 ・渡り廊下で車両と生徒の動線が交錯することで安全上の問題がある。 ・ビオトープは部活動(科学部)で活用しているので残してほしい。 <p>□地域の方々(自治会連合会、自治会、近隣の方々)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫と屋内運動場が離れているため、災害時の対応を考慮すると問題がある。 ・建物が分散配置することで、西側住宅を含めて住環境の変化が起きる範囲が大きくなると思う。 	<p>□学校関係者(先生、PTA)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺整備が少なく、既存建物への影響も少ない案だと思う。 ・屋内運動場の天井高さは10m(最高高さ)は確保してほしい。 ・既存施設(ビオトープや駐車場)を撤去する必要がなく周辺環境の変化も少ない案だと思う。 <p>□地域の方々(自治会連合会、自治会、近隣の方々)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天井の高さが確保できれば、平面的に問題が少ない案だと思う。 ・北側駐車場、ビオトープが現状通りのため、大きく雰囲気は損なわれず、建物も隣地境界線から距離が一番確保できるため好感もてる。
建設コスト	本体工事費 824,900,000円	本体工事費 847,000,000円	本体工事費 937,646,000円
検討結果	<p>生徒動線、開放利用者の動線は短く使いやすい形態。ただし、平屋建てで1棟の計画のため建築面積が大きくなり、外構整備範囲が大きくなる。さらに、北側道路の近くまで建物が配置されるため、近隣住宅への圧迫感や騒音、夜間照明などの影響が大きい。</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<p>平屋で2棟の計画のため、工事範囲が大きくなり、学校運営に支障が出ない仮設計画を綿密にする必要がある。また、上下足の考え方や車両通行部に生徒動線が交差するなど、学校運営での工夫が必要となる。西側住宅に対して、騒音や夜間照明の影響が出る。</p> <p style="text-align: center;">△</p>	<p>校舎2階と屋内運動場を接続することで、生徒の動線は短く、開放施設はわかりやすい形態となっている。2階建てのため、建物高さは高くなるが建築面積が小さく、隣地境界線から離して建物を配置できるので、周辺への影響は少ない。</p> <p style="text-align: center;">◎</p>

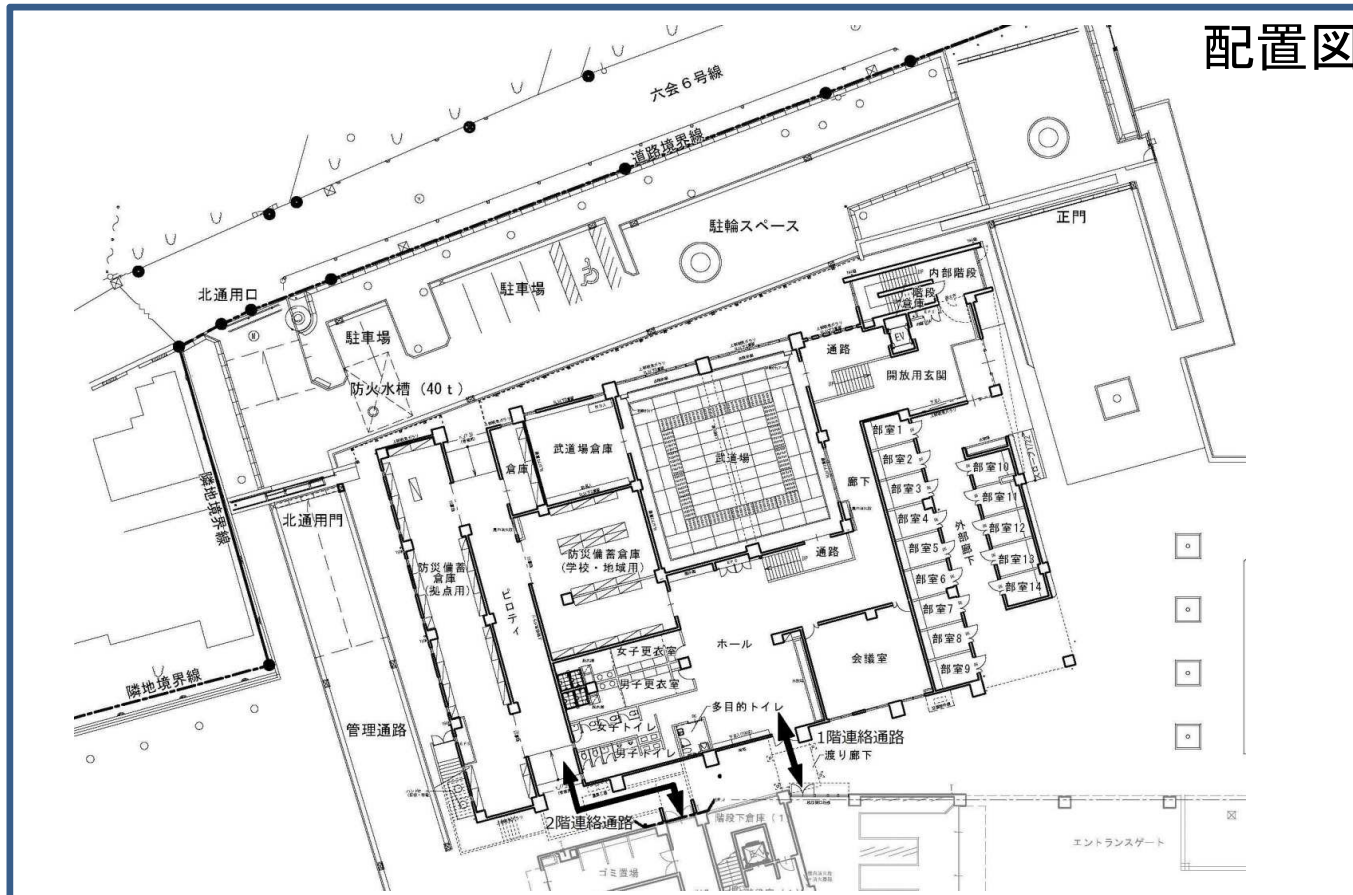
【基本設計(案)】

六会中学校新屋内運動場

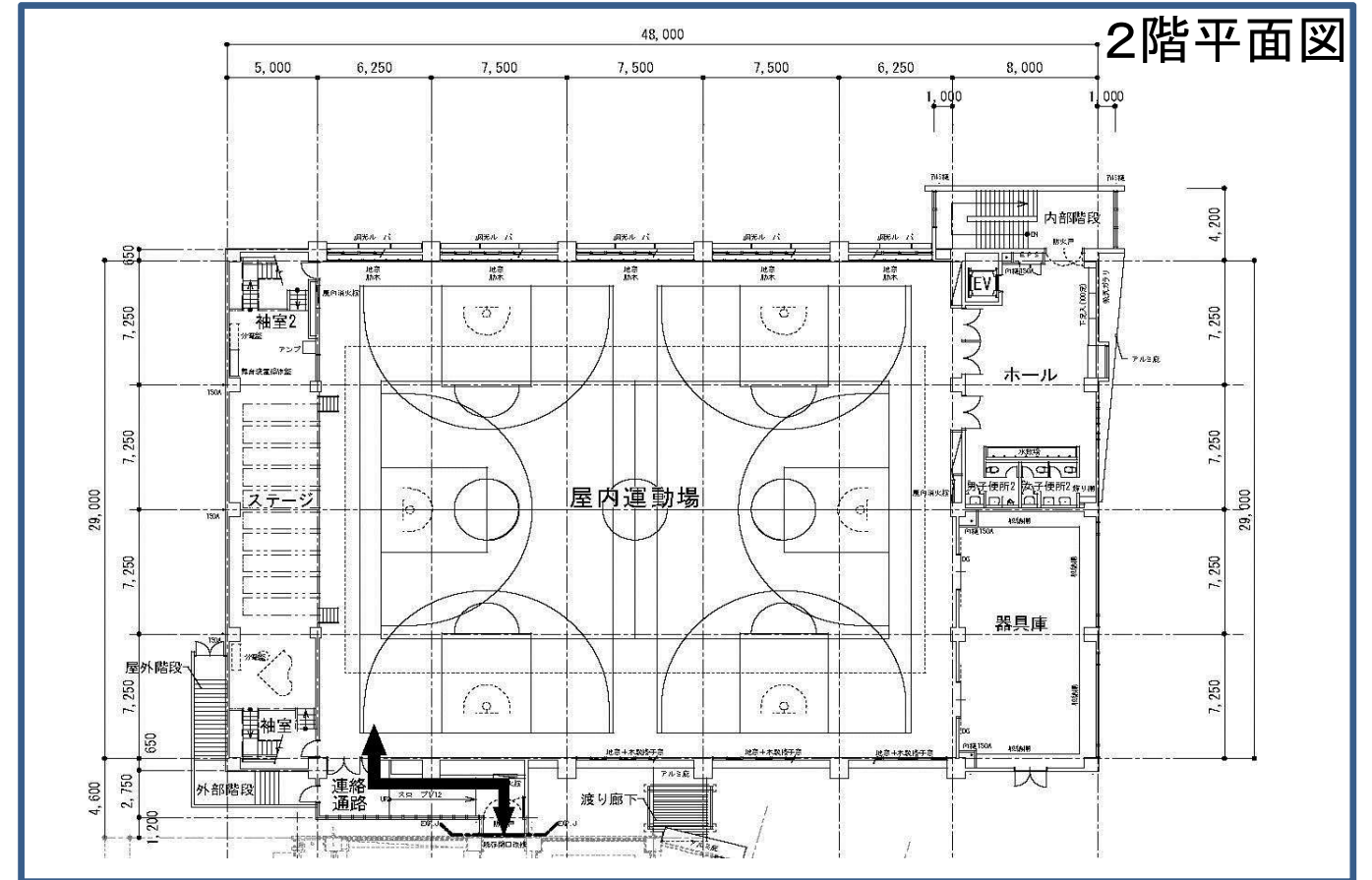
〔階数〕 地上2階建て 〔規模〕 建築面積1527.47㎡、延床面積2948.55㎡

〔諸室〕 屋内運動場アリーナ、武道場、防災備蓄倉庫2(学校・地域用及び拠点用)、部室14、トイレ2(1F・2F)、更衣室、開放用会議室 など

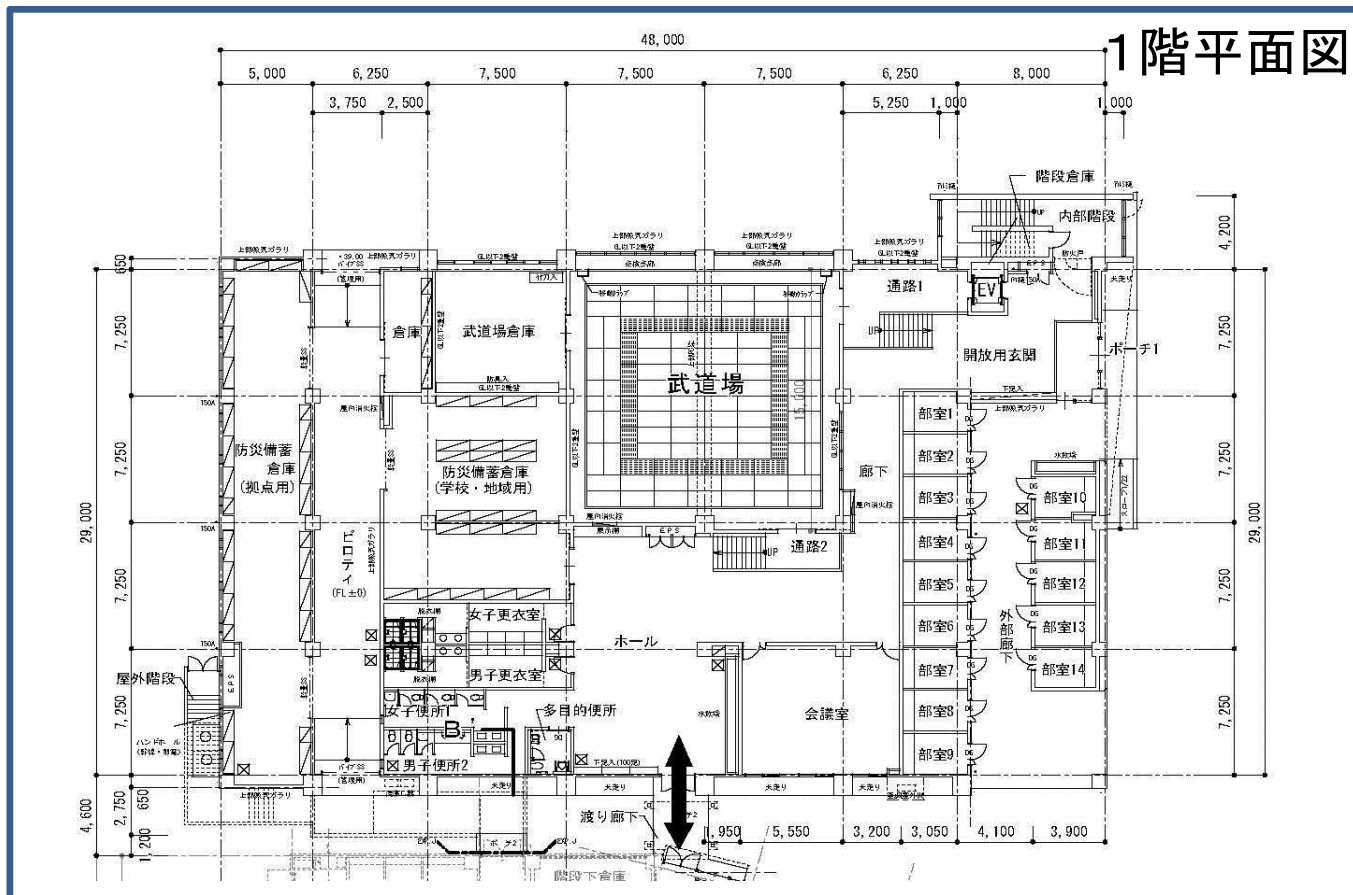
配置図



2階平面図



1階平面図



イメージ図



(事務担当:教育部学校施設課)